

日頃より大変お世話になっております。

若松病院産婦人科は、入院診療を始め5年目に入り、4月から西村医師に代わり茗荷舞医師が着任しました。先生方に紹介していただいたおかげで、2016年度は経腔手術・腹腔鏡手術・子宮鏡手術など、合計318件の手術を施行しました。開腹手術は0でした。最近は無経産の巨大筋腫核出、子宮全摘、癒着のひどい内膜症など難易度の高い症例も対応可能です。現在2ヶ月以内に入院が可能で、手術時間短縮・短期入院による低侵襲手術を行っています。



若松病院産婦人科ホームページ

<http://obgyn-wakamatsu.jimdo.com/>

お問い合わせメールアドレス

yoppy@med.uoeh-u.ac.jp

2016.4.1-2017.3.31 手術統計 (重複あり)

腹腔鏡手術	174	経腔手術	134
卵巣	29	TVM	100
子宮	38	腔閉鎖	8
	筋腫核出	TVT (尿失禁手術)	11
POP	37	子宮全摘	15
	子宮全摘+腔断端固定		
	LSC		
子宮外妊娠	1	子宮鏡手術	24

- ・ 今後も一人でも多くの患者様に、よりよい医療を提供できるよう努力します。
- ・ 地域に根ざした医療に加え、若松病院でしか出来ない医療を確立していきます。
- ・ 骨盤臓器脱症例、腹腔鏡を希望する良性疾患症例、若松病院に通院圏内の症例などございましたら、ご紹介をお願い致します。

最近のトピック

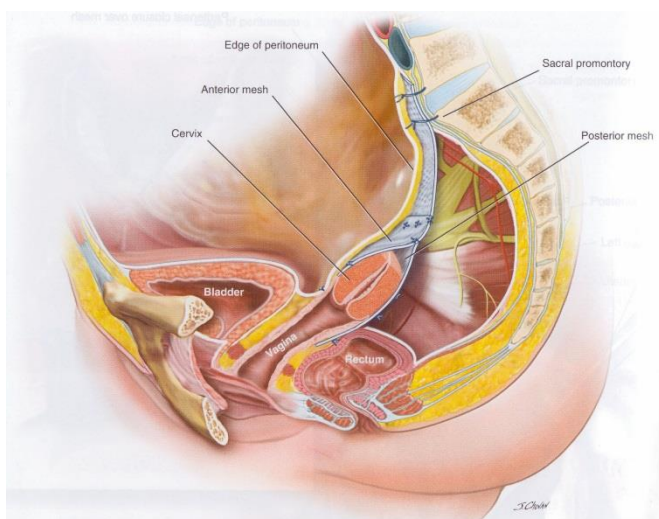
1. 産婦人科の腹腔鏡手術

近年、腹腔鏡手術の進歩と普及に伴い、多くの手術が腹腔鏡下で行われるようになりました。当院でも昨年度は174件の腹腔鏡手術を行い、開腹手術はしませんでした。今年は巨大子宮筋腫の腹腔鏡手術も施行し、1.7kg（左写真）・1.2kg



の子宮全摘も順調に終わりました。今のところ開腹の基準を大きさでは決めておらず、希望があれば、とりあえず腹腔鏡で腹腔内を観察してトライしてみる方針としています。腹腔鏡希望でセカンドオピニオン目的の症例も増えています。これまで大きな子宮や筋腫は腹腔外へ搬出するのに時間がかかっていましたが、最近は臍の創より果物の皮むきの要領で細長くするpeeling法を確立し、かなり大きくても10-15分程度で搬出できるようになりました。

2. 腹腔鏡下メッシュ手術（仙骨腔固定術：LSC）



近年、経膈メッシュ手術に代わる新しい性器脱手術として注目されています。腹腔鏡で膈上部切断術により子宮体部を切除し、膈粘膜下にメッシュを挿入し、子宮頸部と共に仙骨前面に牽引固定する方法です。当院では性交渉のある70歳未満で、高度肥満のない症例を対象としています。技術向上により手術時間が短縮され2時間程度でできるようになり、適応を拡大しつつあります。予後良好

で、メッシュ露出・感染が少ない有効な手術です。手術前日入院で、術後3-4日で退院可能です。最近インターネットで調べて、LSC希望で来られる症例も増えています。